

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新居浜市立南中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒792 -0811
愛媛県新居浜市庄内町二丁目4番47号

E-mail : niisj-ad@esnet.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 213 名 女子 250 名 合計 463 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 テーマ (主題)

人と自然が共生し、かけがえのない環境を大切にす
る生徒の育成 ー小中連携を含むー

2 主な活動内容について

(1) 環境学習

- プランターによるマリーゴールドやパンジー、
日々草栽培活動

春植え 5月16日(金) 40個のプランター
にマリーゴールドを協力して植え、夏休みも含め
水やりを行う。

秋植え 10月29日(水) 44個のプランター
にパンジーを協力して植え、冬休みも含め水やりを行う。

(生徒の感想)

マリーゴールドを植えてとても自然とふれあえたと思います。自分たちで土を入れ、花をとってきてとても楽しかったです。夏休みに水やりをしに来るのが楽しみです。きれいな花を咲かせて渡しに行くときに、笑顔になってもらえるとうれしいです。大きく育ててほしいです。私たちと一緒に花も成長して欲しいと思いました。

- 校区内の小学校と連携したクリーン運動校内
や校区をきれいにし、自主性、協調性、奉仕の神を
養うとともに、郷土を愛し、郷土の自然を守ろうとす
る心を、小中合同で育てることを目的として実施し
た。

平成26年7月9日(水)1・2校時実施

金子小学校から校区内

(金子小6年生+南中1年生24名)

金栄小学校から校区内

(金栄小5・6年生+南中1年生40名)

南中周辺から河川敷 (南中1年生71名)

(生徒の感想)

今日は、とてもがんばれたと思います。最初は、たばこや花火のかすが、たくさんあってびっくりしました。よく見るとあめのかすがけっこうあってゴミを拾うのはよく下を見ることが大事だと思いました。川原の近くには、でっかいゴミがあり川にはたくさん袋のかすがあり、なぜこんなに人は捨ててしまうんだと心から思いました。でも、ごみを拾う人がいるから、まだ少ないのかなとも思いました。私は、ゴミがあつたら拾おうと思うし、自分では捨てないようにしようと思いました。雑草ぬきは、好きでたくさん抜けました。固いところがあつたけど、友達と協力して抜きました。その草の根は、とても大きく、草も生きてるなあと思いました。(感動)クリーン運動を通じて、ゴミは捨てない、拾う、雑草はがんばってひこうと思いました。今日は、楽しくいい勉強になりました(2)ふるさと学習(東平への実地研修・調べ学習)

- 実地研修について

平成26年7月4日実施

前日が大雨で、東平地区のみの実地研修となった。バス4台で東平まで行き、第三通洞、インクライン跡、東平歴史記念館等を研修した。



マリーゴールドの植え付け



国領川での清掃活動

○ 調べ学習

1年生全員が、歓喜坑、牛車道、銅山峰、角石原、第三変電所、第三通洞、東平歴史資料館、東平小・中学校跡、マイントピア別子、広瀬幸平、伊庭貞剛、鷲尾勘解治、新居浜の河川について(水質など)、新居浜の方言、新居浜の郷土、料理新居浜の神社仏閣、新居浜の民謡、新居浜の遺跡、新居浜の祭礼等について生徒の興味関心により選択し、調べ学習を行い成果を新聞形式で発表した。



(生徒の感想)

今日の東平での学習は、前日の雨のため3つの場所しか回れませんでした。インクライン跡はとても急な坂で、ものの重さだけでトロッコを動かし、物を運んでいたそうです。おもしろい仕組みだと思いました。第3通洞は、最終的には、4kmというトンネルです。別子銅山にそれだけたくさんの銅があったということがわかりました。火薬庫は、もし事故があっても建物に被害がないようにするための工夫がありました。東平歴史資料館には、昔別子銅山で暮らしていたひとの写真や当時を再現した模型などが展示されていました。どれも楽しそうで、別子銅山は、新居浜の宝だと思いました。今は森に埋もれているけれど、新居浜をにぎやかにしてくれた別子銅山を、これからも大切にして100年後も今のままの別子銅山があるようにしたいと思いました。

○ 愛媛県環境マイスターによる学習

平成26年6月27日(金)6校時

『明治時代に始まった新居浜市の森林再生』について愛媛県環境マイスターの藤本豊實さんに講演をしていただいた。生徒も別子銅山について理解を深め、東平への実地研修の準備となった。

(生徒の感想)

今日の藤本さんのお話は、別子銅山のことがよく分かりました。一番印象に残っているのは、『明治時代に始まった新居浜市の森林再生』という話でした。「別子銅山をまた青々とした姿にして大自然に帰さなければならない。」といていることがよく分かりました。また、道徳で学んだ「別子銅山に緑をとりもどせ」との関係があり、話の内容はとてもわかりやすかったです。また、別子銅山では杉や檜を植えるために苗木を雑木植えたことなどもよく分かりました。来週は、別子銅山に行くことになります。この前の総合的な学習の時間では、登山上の注意事項や登山者としての資格について学習しました。有害物質ではげ山になった森林を再生しようがんばったことは、素晴らしいことだと思いました。別子銅山の歴史や伊庭貞剛の偉大さを改めて学習できるいい機会となりました。



- 愛媛県立新居浜南高校ユネスコ部の講演
平成26年12月4日(木)ふるさと学習のまとめ
として、愛媛県立新居浜南高校のユネスコ部5
名による講演をしていただいた。内容も分かりや
すく、生徒は別子銅山の歴史や人々の生活や
環境について学ぶことができた。



新居浜南高校生の講演

3 成果と課題

本校では、「人と自然が共生し、かけがえのない環境を大切にする生徒の育成—小中連携を含む—」を事業テーマとして、1年間、環境学習を中心に活動を行ってきた。校内を美しくし、身近な環境をよりよくするための取組であった。生徒達は、徐々に植物栽培への関心を示し、自主的に活動することができた。また、地域との連携として公民館への花の提供も意識の高揚につながった。クリーン運動では、南中学校へ入学してくる2つの小学校と連携し教員も交流しながら、地域の清掃活動を行った。これも地域への貢献と来年入学して来る小学生と中学生との交流となり今後にも有益な活動であったと思う。ふるさと学習では、東平への現地研修を行った。天候や自然条件に左右された活動にはどうしても危険や不便さが伴い十分な配慮ができにくいのが課題である。2学期に、ふるさと学習のまとめとして、調べ学習をおこなった。別子地区の施設や関係のある人物などをテーマに生徒が選択し、意欲的に活動を行った。また、この活動を深めるため、愛媛県環境マインスターによる講演や、新居浜南高ユネスコ部による講演会を深めるため、今後とも、身近な新居浜、歴史のある新居浜、大切にしたい新居浜を知るためにふるさと学習を継続していくことが大切である。現地研修会では、バスの手配や補助など新居浜市教育委員会の協力を頂いたのも大変感謝したい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
 時間外活動の時間を使用
 ユネスコクラブの活動として実施
 その他()